

令和7年度 第3回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会議事録

開催日時：令和7年10月20日（月）午後1時30分～午後2時44分

開催場所：KTXアリーナ 2F 会議室3

出席者：村 良弘委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、高橋 伸委員
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、植島禎一委員
委員計8名

高田教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：横山史明委員

傍聴者数：1名

委員長あいさつ

教育長あいさつ

議題

- (1) 休日の運動部活動に関するアンケートの実施結果について
- (2) 地域クラブ活動試行実践の実施状況について
- (3) 地域展開までの今後の検討等について（案）
- (4) 中学校入学説明会の資料について

会議資料

- 資料1 休日の運動部活動に関するアンケートの実施結果について（報告）
- 資料2 令和7年度江南市地域クラブ活動試行実践実施状況
- 資料3 地域展開までの今後の検討等について（案）
- 参考 部活動の地域展開の進捗（県内一部自治体）
- 資料4 運動部活動の地域展開についての中学校入学説明会での周知について
- 参考 地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案）の概要

議事内容

議題（1）休日の運動部活動に関するアンケートの実施結果について

○事務局

資料1により説明

令和8年2学期からの休日の運動部活動の地域展開実施に向けて、影響を受ける現小学校6年生と中学校1年生を対象としたアンケートを実施し、小学校91.0%、中学校86.4%の回答を得た。

地域クラブ活動への参加については、現在の小学校6年生の参加予定人数249

人、現在の中学校1年生の参加予定人数178人、合計427人の参加意思が示されました。今年度の中学校運動部活動の参加人数が、現在中学校3年生の人数を含んで1,581名ということから、事務局の予想よりは差が大きかったと感じている。

中学校1年生のうち、今年度の試行実践に参加していない理由では、「塾や習い事に時間を使いたい」「趣味や家族と過ごす時間したい」とする多数の回答等から、それぞれの子どもや家庭が、休日の多様な生活形態を望む傾向が強くなっていることがわかる。

なお、このアンケートから、地域クラブ活動の開催場所を中学校合同の拠点校としていることへの不安が子ども、保護者とも多いこと。また、これまで機会を捉えて、いろいろな方法で地域クラブ活動について周知をしてきたが、まだ正確に伝わっていないということが、ご意見からわかった。

これらの課題について、実行部会、推進委員会にて目標の期日に向かって協議し、ご理解をいただける方針を示していきたいと考えている。

アンケートの中で児童生徒及び保護者からいただいた多くのご意見の内容を集約してQ&A形式にまとめた。その中でも活動場所は、通学する学校での活動を望む意見が多数であり、参加生徒数の人数により検討していくことになる。また、指導員の確保も重要な課題であるので、今後の学校と指導員の打ち合わせにより、検討していくことになる。

なお、参加費の支払い方法の利便性を向上させる点については、市の会計システムの更新に合わせて、家庭から休日での支払い等を可能とする方法にしていく予定である。

アンケート結果については、後日ホームページに掲載していく。

○委員

現在の試行実践では、拠点校で実施しているため、活動している中学校に近い生徒が中心となって、遠い中学校の生徒は参加しづらいことになっていると感じる。

参加費の支払いについては、支払い期限が短いように感じる。期限が過ぎても支払いは可能であるが、支払い期間の延長の配慮をして欲しい。また、支払いの利便性の向上も、早期に実施が可能となるようにして欲しい。

○事務局

参加費の支払い期間は現在より長めにしていくことを考える。支払いの利便性向上については、来年12月に市の財務会計システムの更新時期に合わせて変更していく予定であるが、それまでに可能となる方法があれば検討して採用していきたい。

○委員

いただいた意見はこの取組に対する意識が高まっているため、非常に具体的であり、内容も良いと思う。これは、これまで試行実践を続けていたから出ている意見であり、目標に向かって順調に良い方向に進んでいると思う。

アンケートの回答については子どもと相談して回答いただくことを前提としていたのだが、保護者からの意見が少なかったことに対しては、どう感じているのか。

○委員

保護者へは、学校からの連絡メールにてアンケートが周知されていたが、子どもが回答していることから、周知が不十分であったのか、また、見過ごしも多かったのではないかと思う。

○委員

子どもが答えているから、という認識等の原因はいろいろあると思うが、アンケートを含めて保護者への周知については十分にしていく必要がある。

○委員

周知については学校にも協力してもらい、保護者会等の機会を利用して先生からも周知するように依頼してはどうかと思う。

○委員長

保護者会等のタイミングが合えば、学校から案内をしていただけると思う。事務局から、連絡等については学校に依頼していけば協力は可能である。より多くの保護者に理解いただくことが大事である。

来年9月からの実施時のおおよその参加希望はアンケートの数字であるが、令和9年度からは、もう少し人数も多くなってくるのではないかと予想する。その想定もして、運営を考えていく必要がある。

○事務局

アンケートについては、来年度からも年1回程度は実施していく。その調査数字を勘案して考えていく予定である。アンケートのご意見からも、まだ理解を十分いただいていることも感じるので、周知の方法も検討していく。

○委員長

アンケート結果については、児童生徒及び保護者からいただいたご意見の内容を集約したQ&Aとともにホームページに掲載していくことに加えて、ホームページを見ない方もおられるので、学校から保護者に対してメールで送信するよう協力していただけないか。

○委員

学校からアンケートの実施についても一斉にメール送信しているので、結果についても可能である。

○委員

小学校でも、学校から連絡できる。

○委員長

内容については、再度事務局で精査して、早期に送信できるようお願いしたい。

○事務局

保護者へお知らせする内容については事務局で検討する。アンケート結果とともに

に保護者へ協力に対してのお礼文を添えて、今月中には送信できるよう手配したい。

○委員長

修正等については事務局に一任して、保護者へ送信するようにお願いしたい。
次に議題（2）について、事務局から説明をお願いしたい。

議題（2）地域クラブ活動試行実践の実施状況について

○事務局

資料2により説明

今年度実施中の試行実践への多くの生徒の参加を募るため、8月29日付で学校を通じて「江南市の運動部活動の地域展開について」の周知文とともに、再募集チラシを中学校全生徒に配布した。10月9日現在の現状報告である。

○委員長

状況報告ということで、この議題については終了する。
議題（3）に移る。事務局から説明をお願いしたい。

議題（3）地域展開までの今後の検討等について（案）

○事務局

資料3により説明

第2回推進委員会で提出した資料で、その後の実行部会にて検討した事項及びアンケートの結果を反映させて提出するものである。各課題の対策の内容については、課題1 生徒の多様な活動の創出として、学校部活動種目以外で要望があったダンス等の種目については、スポーツ協会、スポーツ推進委委員との間で具体的な方向で話を進めていく。2 持続可能な社会活動の創出では、スポーツ団体や企業への周知と指導員派遣等の人的支援者、所有施設の無償提供等の物的支援、活動費などの経済支援等のサポート依頼と協力を依頼する。3 指導員の確保と育成では、前回推進委員からも依頼を受けたが、指導員と部活動顧問との打ち合わせ等については、現在進行中であるため、打合せで出た意見や検討材料については、指導員アンケートの結果とともに、実行部会、推進委員会に報告していく。指導員研修は、江南市が主体となり、年1回以上の実施をしていくことを明記していくこと。また、指導員確保のため、現在学校部活動を指導している外部指導員を地域クラブ活動指導員としての協力を求めていく。4 地域クラブ活動の大会参加について、中体連等の大会情報は、まだ明言できない状態である。大会引率の問題、大会参加旅費の予算確保の検討も必要となる。民間大会を含めて活動の成果を発揮できる場を設けていく。5 地域クラブ活動についての周知と理解促進では、今年度、中学校入学説明会にて周知を実施する。地域クラブ活動の児童生徒、保護者の見学会を実施する。また、参加者数の状況から活動場所を増やすことになる場合、兼職の教員を含む指導員の確保、中学校以外のスポーツ施設の利用も検討する。緊急時の対応マニュアルを整備すること。6 受益者負担の範囲について、令和9年度に向けて保護

者アンケートや、種目ごとに使用する消耗品、指導員数等を勘案した適正な受益者負担額を積算していくこと。生活困窮世帯を対象とした参加料減免を実施するが、減免額の設定について検討が必要となる。その他の課題で運営主体については、今後の地域クラブ活動を持続可能な活動としていくため、新たな運営主体の設立について検討していく。参加対象生徒の範囲は、市内在住の国立、県立、私立を含めた中学生を可とすることとする。

○委員長

参加対象生徒の範囲について、以前県立中学校の生徒が参加したいという希望があったと聞いたが、試行実践に入って活動しているのか。

○事務局

市内在住の県立中学校生徒 1 名が登録しているが、実際の活動には出席していない。

○委員長

困窮家庭の生徒の参加については、できるだけ参加できるようにと考えるが、現在、具体的な方向性はあるのか。

○事務局

実行部会の中で、他の課との情報共有等について検討している。助成の方法等と予算確保も含めて来年 9 月以降に対応できるよう、実行部会で検討し、推進委員会に諮って、今年度中に結論を出していきたい。

○事務局

先程説明した指導員の確保と育成の中で、指導員と学校顧問及び事務局の打合せ会の実施について、現在の進捗について申し上げたい。

前回の推新委員会の中で、活動内容や今後の大会参加に向けた指導員と学校顧問との打合せ会を早期に実施して欲しいとの意見をいただいた。現在、軟式野球、ソフトボール、バレーボールの打合せを実施した。主として指導員と学校顧問との情報交換を目的としたが、学校顧問には地域展開の内容が上手く伝わってなく、地域クラブ活動が何かがわからないというご意見が多かった。指導員からは大会参加の方向、必要備品や指導員確保について、今後の地域クラブがどう進むかの事務局への質問が多く出た。残りの種目については 10 月中に打合せ会を実施する。

打合せ会で出た問題点やご意見をまとめたうえで、実行部会、推進委員会に報告してご意見をいただきたいと考えている。

○委員長

打合せを実施した中で、課題が出てきているようだが、西浦委員からご意見いただきたい。

○委員

学校では、教員に情報は共有しているつもりだが、個々の部活動顧問の部活動に対する思いが異なっているのが現状である。今後、新たな課題として子どもと地域

クラブ活動の関わりについて、打合せの中から生じてくると思う。学校もスムーズに移行できるよう、打合せ後の情報共有等、学校としてできることは協力していく。

○委員長

学校間、顧問間でも温度差があると思うが、校長会を通して各顧問に対して情報を探していくよう配慮して欲しい。

○委員

指導員の育成について、指導員研修を年1回以上行うことについて、複数回実施して十分に育成を図って欲しい。また、事務局と指導員以外で第3者の視点で地域クラブ活動を巡回観察して、意見を言うような役割を持つ人を設けてはどうか。団体スポーツになると、人間関係などの諸問題から子どものケアができる体制をつくるとよい。

○委員長

現在の試行実践でも事務局とかコーディネーターで様子を観察するために巡回をお願いしている。引き続きお願いしたいと思う。

○委員

先程の指導員と部活動顧問との打合せの議事録をとっていると思うが、重要な点だと考えているので、議事録を出していただきたい。

○事務局

議事の要点をまとめたもの出すこととする。

○委員長

資料として出すようお願いしたい。打合せの主旨として、地域の指導員と学校顧問が指導方法の確認をして、地域クラブ活動の指導に活かしていくということから始まっているので、その点を理解して打合せをしていただきたい。

○委員

指導員の確保について、どのような手順で募集等を行っているのか。気軽に応募できるのか、それとも保有の資格を持っていることが条件になるのか。

○事務局

指導員の確保については、愛知県の人材バンクを利用しているが、マッチングが難しい。ホームページ内に、指導員募集について詳細を掲載しているので、そこから申し込みをお願いしている。指導員に対しての資格は求めていないので、人材確保のため、スポーツ少年団や教員等のご協力を願いていきたいと考えている。

○委員長

広報を利用していくことも考えたらよいと思う。

○委員

このアリーナの窓口でも募集の告知を行ったらどうか。広報やホームページは見ない人が多いと思う。

○委員

スポーツ協会でも、指導員派遣について話を進めている状況である。

現在、剣道とサッカー、ソフトボール、バレーボールで指導員は出している。

○事務局

スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員には、新規種目の選定と指導員確保の点について、提出した案の内容が認められた後、正式なお願いをしていく。

○委員

大会参加について、協会の大会や市内の個人種目に参加できるもの等、参加者の発表の場を作ることで、協会として協力していきたい。

○委員長

大会に参加する際に着用するユニフォーム等はどうしていくのか等に関して、予算計上も必要になっていくのかと思うが、事務局の考えはいかがか。

○事務局

実行部会でも話題となつたが、公費で賄うか個人負担としていくのか、これから協議していく。近隣市町の状況も含めて考え、必要であれば予算計上を考えなければならない。

○委員長

直接肌に触れるものを市で管理し助成することは、昨今の衛生上の観点からも難しいかもしれない。

○事務局

情報であるが、実行部会の中で犬山市のバスケットボールが今年度の大会から地域クラブ活動として出場する、との情報については、まだ地域クラブ活動ではなく、2中学校ごとの合同クラブ活動として出場することであった。これは、学校部活動の範囲なので、引率は教員がして、交通費は教育課にある予算を支出する。今年度のユニフォームは、学校で用意したものを使いに貸し借りして着用するが、来年度地域クラブ活動が開始された際は、受益者負担で用意することを考えているとのことである。

参考として提出した県内一部自治体の部活動の地域展開の進捗についての情報については、お目通しをお願いしたい。

○委員長

議題（4）について、事務局から説明をお願いしたい。

議題（4）運動部活動の地域展開についての中学校入学説明会での周知について

○事務局

資料4により説明

中学校入学説明会にて、休日の運動部活動の地域展開に係る地域クラブ活動の実施について、入学予定の児童及び保護者に向けて周知を行う。スライドを使用して説明を行い、質疑を受け付ける。

スライドの内容は昨年度の入学説明会での資料を基本とするが、付け加える点は、地域クラブ活動の活動場所は、現在は合同で拠点校にて実施することを定めていること。指導員確保のため、保護者からの申し出や推薦の協力を求めていくこと。負担額は、令和8年度は参加料を1回500円で設定するが、令和9年度以降の適正な受益者負担額について検討していくことを説明する。また、今年度及び令和8年度での試行実践の見学会の実施についての告知をする。

説明会に参加した保護者から意見、質問をいただくよう案内し、その結果を集約して実行部会、推進委員会に報告する。

○委員長

昨年度の入学説明会で使用した資料を改訂して、説明をしていくことである。

○委員

各中学校でこの資料の内容について、意見を聞いて修正を加えていくのか。

○事務局

中学校へは、すでに依頼を済ませている。内容については委員からご意見いただければ、修正して当日説明をしていきたい。

スライドデータを各中学校に持参する際、紙面で最終版をお渡しする。

○委員

資料の説明文の中の「これまでと同様に」という語句は、昨年度から状況が変わった学校もある。保護者の誤解を受けやすいためこの語句は削除願いたい。

○委員長

説明会まで時間があるので、意見を聞いていただき何かあれば事務局までご連絡願いたい。

それでは、最後のその他について事務局からお願ひしたい。

○事務局

議題の中で提出した地域展開までの今後の検討等については、この案に沿って進めていきたいが、スポーツ団体の方には、地域展開の動きについて各団体の中におろしてご検討いただきますようお願ひしたい。

事務局として説明が必要な場合があれば、申し出て欲しい。

○委員長

指導員の登録については、毎週の指導ということでなくても、ローテーションして指導していくことも可能であるので、指導員の確保の点で登録をしていただきたく思う。スポーツ団体の皆様にご協力いただきたい。

皆様から貴重なご意見をいただき感謝申し上げる。

これをもって、令和7年度第3回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会を終了する。